

# 阿武隈川緊急治水プロジェクト

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した阿武隈川水系において、国、県、市町村が連携し、「阿武隈川緊急治水プロジェクト」として取りまとめました。
- 国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指します。
  - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
  - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
  - ③減災に向けたさらなる取り組みの推進【ソフト施策】

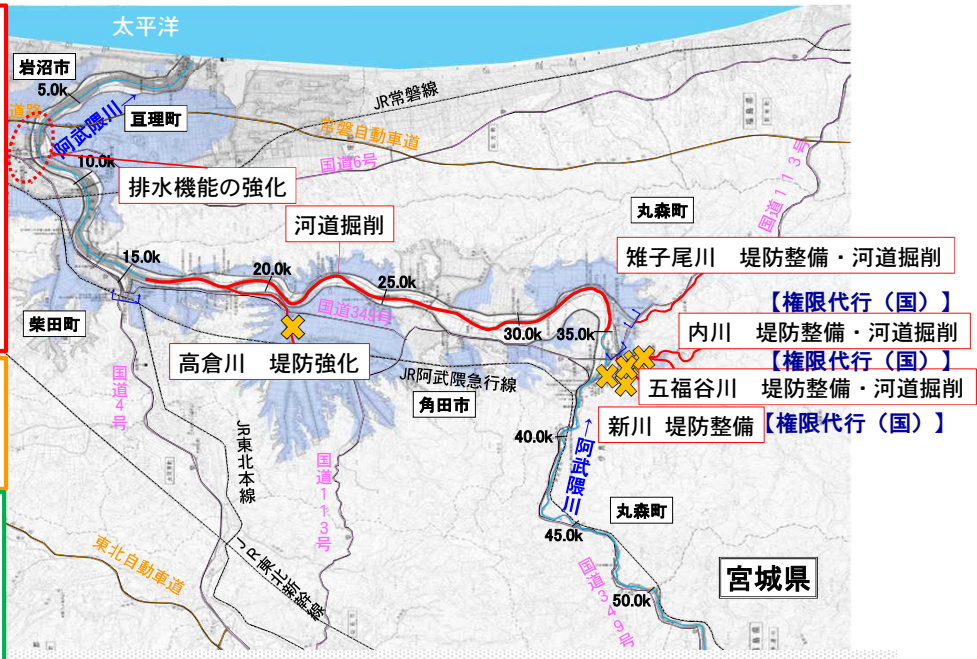


**河川における対策**

全体事業費	約 1,354 億円
災害復旧	約 181 億円
改良復旧	約 1,173 億円
事業期間	令和元年度～令和10年度
目標	【令和6年度まで】 台風第19号における本川下流域の越水防止 支川堤防強化の完了 【令和10年度まで】 台風第19号における本川からの越水防止
対策内容	河道掘削、遊水地、堤防整備 等

- 流域における対策**
- ・一時貯留施設の設置
  - ・排水機能の強化及び耐水化
  - ・準用河川の整備促進 等

- ソフト施策**
- ・バックウォーター影響区間における危機管理型水位計及びカメラの設置及び避難体制の構築
  - ・中小河川や内水を考慮したタイムライン策定推進
  - ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画の展開
  - ・高頻度で浸水する区域の災害危険区域等の指定
  - ・災害時情報伝達手段の充実 等



※今後の調査・検討等により追加・変更がある。